

たまねぎ農家 中村農園での学習がスタート



キャリアプランニング能力の育成を目指します。ステキな大 人の姿から、自分の未来について考えます。

5月18日(木)、今年度最初のキャリア教育がスタートしました。5年生の総合的な学習の時間「十勝の農業を体験し、魅力を知り、発信する。」を支えてくださる、中村農場代表の中村正信さん(豊成小学校の第1回目の卒業生で、50周年記念協賛会の会長も務めてくださいました。)が、毎年たまねぎの栽培や管理・収穫まで、1年を通して指導してくださいます。豊成にはな

くてはならない地域の先生です。

この日は、25~6度の日差しが強く暑い1日でしたが、子どもたちは時折水分補給しながら、中村さんの指導の下、1人に割り当てられた1m×2mの畑に均等に60本の苗を植えていきました。中村さんは「たまねぎは、種をまいて、苗が育って、土の中にたまねぎが実ります。そのたまねぎが冬を越し、また芽を出して花を咲かせ、種を付けます。つまり、2年間かけて次の世代の種を作っているんだよ。」「みんなが食べているたまねぎは、種のつくる前の途中のいのちをいただいていることになるんだよ。」と、とても貴重なお話をしてくださいました。



「畑の仕事は、楽しいことばかりではなく、大変なこともたくさん! そこをやらないとおいしいたまねぎが育たないので、手を抜かずにがんばろうね!」中村さんとのステキな出会いと、農業にかける思いを知ることができた貴重な1日でした。



